

再生可能エネルギーの 買い取り停止？

九州電力などの電力会社が、太陽光発電の買い取りを制限するという方向で進んでいることに大きな疑問があります。

2012年に施行された再生エネルギー特別措置法で、電力会社は、太陽光電力など再生エネルギーで造られた電気は買い取りが義務づけられました。

しかし、「電気の入滑な供給の確保に支障が生じる恐れがある」場合は買い取らなくともよいという法の抜け道を利用したもので、九州電力、北海道電力、四国電力など原発再稼働を急ぐ会社が、電力買い取りの新規契約を取り消しています。今のところ、再生可能エネルギーの電源に占める割合はわずか2%しかありません。

「需要を上回る再生エネルギーが集まった」などの理由で、電力会社が一方的に買い取りを制限するなど許されません。

国と電力会社は、電気が余るならば電力会社同士で融通しあうことや送電網の拡大をはかるなどが必要です。

いま、日本でも東日本大震災をはじめ、御嶽山の噴火、異常気象で過去にない大災害が次々に起きています。

国、政府に求められているのは、原子力発電の再稼働をやめ、原発ゼロを決断し、資源の豊かさや、日本の技術水準の高さなどの条件をいかにして、太陽光、風力などの不安定さをカバーする、揚水式水力発電の活用拡大、大型蓄電池の開発などが考えられます。

事故が起きれば手がつけられない「原発はゼロ」にして、二酸化炭素(CO2)を出さない太陽光・熱、地熱、風力、水力、バイオマスなどに再生可能エネルギーを普及、拡大させることです。(A)

(参考 新婦人しんぶん)

皆野町民総動員？

映画 “じんじん”

この民報が届く頃、映画“じんじん”を観た方もいると思います。

“よかった”“それ程でも”感じ方は人それぞれです。それにしても、この映画の取り組み方は少し異常ではありませんか？

石木戸町長を会長として、映画「じんじん」上映皆野町実行委員会」が作られました。協力団体は、皆野町、皆野町議会、皆野町区長会をはじめ36団体。町にあるほとんどの団体です。そして、町民はあちこの団体から、ここの団体から声をかけられ、売る方は早い者勝ち、断るわけにもいかず券を買った人もいるようです。

たくさん割り当て券を預かって大変な人もいたのではありませんか。平強制的にやられておかし「なぜそれまでして、この映画を取り組むのか」その収益はどうするのか「そんな声が聞こえてきます。

議員のひとりごと

常山 知子

10月末、山形県米沢市へ行きました。夫と妹と私の三人旅でした。

米沢は藩主上杉の城下町です。今でも歴史の面影が感じられる上杉家ゆかりの名所がたくさんありました。「なせばなる なさねばならぬ何事も 成らぬは人のなさぬなりけり」有名な10代藩主上杉鷹山の言葉です。鷹山は殖産興業に努力し苦しかった藩財政を立て直し、今の米沢の礎を作りあげたと聞きました。

そのひとつに「米沢織」があります。

現在もその織物を受け継いでいる「紅花染物工房」を見学しました。

細かい模様をひと織り、ひと織り織っていく様子は遠くなるような作業です。こつとして芸術作品なる物が生まれてくるのです。百年以上も前の先人が将来をみすえて産業や学問を取り入れ、今なお米沢の地域に根づいています。その精神は今の時代にも学ぶものがあります。そこにいた時間はたった半日でした。今度はゆっくと紅花が咲く頃行ってみたいと思いました。

大企業の内部留保を賃上げに！

原発ゼロこそ経済に展望ひらく！

生活・法律相談 お気軽にご相談下さい

町議会議員

常山 知子

電話・FAX

62-6733